

病虫害発生予察情報

7 月月報

平成 18 年 8 月 1 4 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2006 年 7 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	28.2	1.2	22.4	2.6	24.9	1.7	65	106	5.3	21
中旬	29.2	1.1	22.8	1.6	25.4	1.1	120	252	15.5	67
下旬	28.0	-1.4	22.2	-0.5	24.6	-1.5	22	36	20.2	38
平均	28.5	0.0	22.5	1.3	24.9	0.4				
合計							207	121	41.0	39

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年より高く、中旬は平年並み、下旬は低かった。

降 水 量：上・下旬は平年並み、中旬は多かった。

日照時間：上・中旬は平年より少なく、下旬は平年よりかなり少なかった。

<天候概況>

上旬：梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：梅雨前線の影響で雨の日が多かった。

下旬：梅雨前線が南岸に停滞し、曇の日が多かった。期間後半には梅雨前線の活動が弱まったため晴れ間もでた。

2 作物生育概況

(1)イネ

生育はやや遅れており分けつ数も少ない傾向にある。一部の圃場では葉いもち病の発生がみられている。

(2)サツマイモ

生育はほぼ順調である。

(3)野菜

果菜類等：露地栽培のトマト、キュウリ等では日照不足の影響で全体的に生育が不良であり上物率が低下し収穫終わり先早まった。ナスについては特に生育の遅れが目立ち、茎が細く、収量も少ない傾向であった。一部の地域では7月15日の豪雨、突風、降雷でナスに被害がみられた。スイートコーンは生育がやや遅れ、雌穂も小さい傾向で、一部の地域では7月15日の強風により倒伏するものがあった。

葉菜類：施設および露地のコマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調であるが、一部の地域では露地において雹の被害がみられた。

イモ類：ジャガイモ、サトイモはほぼ順調な生育であった。一部の地域では雹によりサトイモの葉が破

れるなどの被害がみられた。

(4)果樹

ナシ：極早生品種‘あけみず’の収穫始は8月2日で、平年よりも3日遅かった。

ブドウ：‘高尾’の着色開始時期は、平年よりやや遅かった。

(5)茶 樹

1番茶の摘採が遅れたため2番茶の摘採が7月にずれ込む茶園が多かった。病害虫ではチャノホソガ、チャハマキの発生はやや少なく、チャノコカクモンハマキは平年並みに推移している。また、炭疽病がやや発生がみられる。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病

<平地：並み，山間部：やや多> 全般的には平年並であったが，町田市および青梅市の山間部ではやや多かった。

紋枯病

< 並 > 発生は平年並であった。

ニカメイガ

< 少 > 発生は少なかった。

イネツトムシ

< 少 > 発生は少なかった。

コブノメイガ

< 少 > 発生は少なかった。

ヒメトビウンカ

< 少 > 発生は少なかった。

セジロウンカ

< 少 > 発生は少なかった。

斑点米カメムシ類

< やや少 > 発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナ シ

黒星病

< 少 > 発生は少なかった。

黒斑病

< 少 > 発生は少なかった。

ハダニ類

< 少 > 発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ

< 多 > 発生は多かった。

クサギカメムシ

< 多 > 発生は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ

< 少 > 発生は少なかった。

チャノコカクモンハマキ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

チャハマキ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

チャノホソガ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

ナガチャコガネ

< 少 > 発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病

< 少 > 発生は少なかった。

葉かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

白ぶくれ症

< やや多 > 発生はやや多かった。

オンシツコナジラミ

< 並 > 発生は平年並であった。

オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや多 >	6 月以降やや多い状況で継続した。
斑点細菌病	< 並 >	発生は平年並であった。
つる割病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナス		
半身萎凋病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
エダマメ		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 多 >	発生は多かった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
萎黄病	< 少 >	発生は少なかった。
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
 (5) 花きの病害虫		
シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
 (6) 植木の病害虫		
街路樹など		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
 (7) 島しょの病害虫		
大島：コナジラミ類の発生が多かった。		
八丈島：野菜類とロベおよびレザーファンでコガネムシ類の発生が多かった。		
小笠原諸島：かんきつ類でリュウキュウミカンサビダニの発生が多かった。		

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月10日	8月10日	0	0
大田市場	7月10日	8月10日	0	0
板橋市場	7月10日	8月7日	0	0
淀橋市場	7月12日	8月7日	0	0
青梅青果市場	7月4日	8月8日	0	0
福生青果市場	7月4日	8月8日	0	0
八王子北野市場	7月4日	8月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月4日	8月8日	0	0
三鷹市場	7月5日	8月9日	0	0
東久留米市場	7月5日	8月9日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。